

魚の城下町

みんなが主役のまち

No. 288

2018

5

知床未来中学校開校!! 校歌に込めた想い語る
～サブライズゲストで羅臼大使 吉幾三氏登場～



このままではだめだ。何とかしなければいけない。

平成30年度 町長行政執行方針

― 抜粋 ―

就任時にテーマとして掲げさせて頂いた羅臼町民が幸福になるためのKプロジェクトを柱に町政運営を行い、町民皆様の貴重なご意見をもとに庁舎内においてプロジェクトチームをつくり検討を重ねてまいりました。

その一つひとつの課題の方向性や実現可能かの判断をしなければならぬと思っておりますが、羅臼町の抱える課題は、多岐にわたっており、まずは浜の状況をしっかりと受け止め、次世代へとつないでいける町政運営を目指し、町長としての職責をしっかりと果たしてまいります。

まちづくりの基本姿勢

まちづくりの究極の目標は、地域を活性化し、町民一人ひとりが、経済的にも心理的にも不安のない日々を過ごせる羅臼町にすることです。ですが、羅臼町の予算規模ではすべての町民にご満足頂ける行政運営をすることは現状では不可能であり、Kプロジェクトのもと、協働でのまちづくりを推進していかねばなりません。

現在の状況を鑑みた場合、何よりも基幹産業である漁業と、それに関係する水産業の改革であると思っており、今ある資源をどのように活かしていくのか町民が一体となつて、真剣に考え、取り組んでいかねばなりません。

地域産業が安定的に発展することが、町民の生活や安心につながり、子育てや教育、医療、福祉の充実へと波及していくものと考え、まちづくりの目指す方向性を6点あげております。

まちづくりの基本方向

(1) 地域を支える産業の活性化を目指します

地域経済が漁業に支えられている当町としては、羅臼漁協が取り組んでおります栽培増殖事業によるウニ・ホタテなどの沿岸資源の維持・増大対策を支援していくとともに、根付漁業など「育てる漁業」への取り組みに対して、羅臼漁協と連携しながら対応してまいります。

また、近年では殻つきウニや棒コンブなどが数多く出荷されるようになり、昔からの生産加工技術が衰退する恐れがあります。加工技術の伝承を含めた羅臼の特産品に対する付加価値対策を商工関係者や観光事業者を含めたオール羅臼で取り組み体制を整え、協議してまいります。

漁業資源量が激減する中、狭隘な根室海域において繰り返されているロシアトロール船の操業は、漁具の破損などにより漁業者には甚大な被害を被っており、引き続き羅臼漁協と情報を共有し、安全・安心に操業できるようにロシア側に強く働きかけて頂くよう、北海道と共に国や関係機関に要請してまいります。

観光につきましては、交流人口の増加と拡大に向けた広域観光の取り組みとして、ビジットジャパン事業による外国人観光客の受入などを積極的にを行い、当町の魅力を発信するための観光PRを関係機関と連携し実施してまいります。

また、公式SNSを活用し、「知床羅臼」の知名度向上に向けて、今年度は情報発信強化推進員として地域おこし協力隊を採用し、これまで以上に当町の魅力を全国へ発信してまいります。

外国人を含めた観光客の受入れにつきましては、指差し案内ガイドを作成し、宿泊や飲食店など町内各施設に配布して整備してまいります。が、課題もありますので、知床羅臼町観光協会や羅臼旅館組合、羅臼町商工会と相談をしながら受入れの充実に向けた取り組みを検討してまいります。

農業につきましては、生産性と作業効率の向上を目的に農業公社営事業として草地整備を今年度から4年計画で実施してまいります。

商工業につきましては、中小企業振興資金融資制度をより活用しやすくするための見直しを行っておりますので、今後も安定的な経営に向けた支援を継続してまいります。

当町で水揚げされる魚介類を使った「食」の統一メニューを町内飲食店で提供しようと羅臼町商工会を中心に、羅臼漁協、知床羅臼町観光協会、町の4者で検討しております。

知床らうすブランドにつきましては、国内外にPRするため公共交通機関との連携の検討と知名度向上に向けた取り組みとして、町内即売会を今年度も引き続き実施するため支援し、知床らうすブランド品や町内特産品をふるさと納税返礼品に活用し、国内外にPRしてまいります。

平成24年度より始めた羅臼漁協との人事交流につきましては、成果の一つとして役場管理職と羅臼漁協管理職との会議の設置に結びついており、地域経済の好循環の拡大と自立促進に向けた取り組みについて議論を深めてもらうこととしております。

更に、これからの羅臼町をどう形成していくのかというプロジェクトチームをオール羅臼を中心に組織化し、当町を支える産業の活性化に取り組んでまいります。



(2) 安全・安心なまちづくりを目指します
ハザードブックを作成し、避難情報や津波浸水予測範囲などの情報を町民に周知しているところではありますが、作成後既に5年を経過し、新たに反映させなければならぬ情報もあることから、来年度の改定版作成に向けて、現行のハザードブックや避難勧告などの判断・伝達マニュアルなどの見直しをまいります。
また、災害に備えて避難場所や家庭防災備蓄の確認などをして頂くため、住民の避難訓練やシエイクアウト訓練のほか、各関係機関による注意喚起や情報伝達訓練などを実施し、防災意識の高揚を図り、防災について考える機会として頂けるように取り組んでまいります。
大規模な土砂災害の発生に伴い、防災情報の伝達手段の多様化を図るため、防災行政無線、緊急速報メール、エリアメールのほか、登録制の防災メール登録者の増加に向けて、取り組んでまいります。

町内2つの小学校において、児童が防災について考える一日、「一日防災学校」として実施する計画をしております。
町営住宅につきましても、「羅臼町町営住宅等長寿命化計画」により建替えや改善を実施し、安全・安心に住み続けられる良質な町営住宅の形成を目標に進めてまいります。
今年度におきましては、緑町団地の用地確定測量・地質調査などの基礎調査を実施し、基本設計の中で必要戸数・建物の構造階数の検討をし、来年度末の着工を目指します。
また、栄町高台団地の解体につきましても、今年度8戸の解体を実施してまいります。
上水道につきましても、町民生活に欠かすことのできない重要なライフラインであり、将来にわたって安定した供給を確保し、経過年・緊急性などを考慮し老朽管の一部を更新してまいります。

(3) 幸せを感じる医療・保健・福祉・介護の充実を目指します

知床らうす国民健康保険診療所につきましても、孝仁会と連携し、常勤医複数体制の確立を目指しており、孝仁会と共に医師確保に向けて努力してまいります。

持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革として、国民健康保険の都道府県化が、本年4月からいよいよ始まります。都道府県化により財政運営の安定化、保険税など、負担の透明化、事務の効率化などの効果が期待されております。

保険税の収納率向上対策につきましては、釧路・根室広域地方税滞納整理機構と連携した取り組みを行ってまいります。

今年度は、子育て支援や母子保健事業を更に拡充し、不妊治療費及び産婦健診の助成を行い、妊娠期からの切れ目の無い支援を行ってまいります。

また、放課後児童クラブの定員を増やし、来年度実施に向けた幼稚園の預かり保育の在り方についての検討を行ってまいります。

教育委員会と保健福祉課を中心に、学校や幼稚園と連携した横断的な組織「子どもの自律・親育ち応援チーム」を立ち上げ、子育て中の方に寄り添いながら、地域のつながりをつくる支援をまいります。

町内の介護施設は、依然として介護職員の不足が続いておりますが、担い手確保と現役介護職員の技術の向上対策といたしまして、介護職員研修支援費として予算計上させて頂いたところであります。

人口減少や高齢化の進展により、地域の公共交通機関の減少や運転免許証の自主返納が進み、高齢者の皆様はちょっとした移動手段にも不便を感じているため、町内の交通がどうあるべきかの検証を行い、今後の方策を検討してまいります。

障害を持つ方などが、住み慣れた地域で安心して暮らして行けるよう様々な支援を提供できる仕組みづくりを目指して、根室管内の一市四町が協力し、地域生活支援拠点を設置し、拠点コーディネーターを配置すること致しました。今後は、この拠点を中心に、地域支援のための整備を積極的に推進していくことで、障がいを持つ方などの生活を地域全体で支えるサービスマ提供体制の構築を図ってまいります。

(4) うるおいある快適な生活環境の充実を目指す

不法投棄は減少傾向にありますが、検挙も視野に入れた強い姿勢で臨むこととし、羅臼駐在所、羅臼海上保安署のご協力を頂き、不法投棄の撲滅を目指してまいります。

合併処理浄化槽につきましては、住宅の新築及び増改築に伴う設置の指導と、維持管理費の法定検査費用などの軽減に向けた見直しを他の自治体と共に国や北海道に対し一層の働きかけを致します。

今後とも世界に誇る「知床」の豊かな自然の保護と美しい景観の保全に取り組みとともに、野生鳥獣との軋轢軽減のため適切な対応を継続し、住民や観光客の安全・安心の確保と快適で住みやすいまちを目指してまいります。

(5) 豊かな心を育む教育文化のまちを目指す

すべての町民の皆様と共に教育大綱を共有し、様々な分野に携わる人々と広く連携して、羅臼町教育の一層の充実に向けて取り組んでまいります。

学校教育では、幼小中高一貫教育を軸とし、知床学をより確実に系統だてて推進し、社会教育では、ふるさと学習を基本として子育て世代への支援及び次代を担う青年層の人材育成を重点とし、各世代や段階に応じ、学習機会や学習

情報の提供に努め、芸術文化活動やスポーツ活動をとおして地域活動の担い手となる人材の育成を目指します。

知床未来中学校の整備につきましては、今年度は、グラウンド及び外構整備や通学路シェルター整備を計画しております。

羅臼高等学校の存続問題につきまして、地元で後期中等教育が受けられる環境の維持は勿論のこと、存続問題の検討から、具体的な展開へと歩み移し、羅臼高等学校の強みや魅力を更に引き出せるよう支援をしてまいりたいと考えております。

幼稚園の一園化、小学校の一校化につきましては、関係有識者にお諮りし「学校適正配置計画」の策定に向けての作業を進めてまいります。このように少子化社会にあっても、幼児・児童・生徒のより良い教育環境づくりを目指し、統合となつて残る空き施設については、有効な活用が図られるよう、議会、町民の皆様へ周知し、ご意見を頂きながら、最終的な方向性や具体のスケジュールを打ち出してまいります。

また、公民館及び体育館の耐震診断を行い、町民が利用しやすい施設づくりを目指し、施設の活用の在り方や町長部局と教育委員会部局との統合など関係団体と協議しながら検討してまいります。

(6) 身の丈に合った「財政構造」を構築し、安定した財政運営を目指します

自主財源である町税につきましては、納税意識の高揚に努め、公平・公正の観点から納期限内自主納税の啓発を強化して税収確保に努めてまいります。

特に、漁期ごとの精算金や切上げ金をあてに納税約束をされる漁業者や漁業従事者の中には、不漁による減収を理由に約束不履行となるケースも見られることから、完納に向けた計画的な納税指導・履行監視を進めつつ、釧路・根室広

域地方税滞納整理機構並びに北海道とも連携しながら財産調査や搜索を積極的に行い、法に則った滞納整理を粛々と進めてまいります。

また、町が有する全ての債権につきまして債権管理条例に基づいた収納対策により歳入の確保に努めてまいります。

ふるさと納税につきましては、5億円を予算計上させて頂き、今後も魅力ある返礼品の充実を図りながら、全国に「知床羅臼町」の名前を届けるとともに、寄付者の想いを基金に積み立てて活用させて頂きます。

なお、税収確保として、新規事業の企画・開発などを含めた景気対策や、「働く仕組みづくり」「納税しやすい環境づくり」に向けて、羅臼漁協をはじめ関係団体のご理解を図りながらご協力を求めてまいります。

おわりに

町政を担わせて頂き4年目を迎え、任期最後の年となりました。この間、主産業である漁業の水揚げが不安定な状況が続き、安定的な水揚げの期待が持てない状況で推移しており、こうした状況が長く続くと町の存亡にもかかわる非常事態と受け止めております。

しかし、今日まで知床の雄大な自然と海の恵みを受けて、先人達が築き上げてきた羅臼町は、まもなく120年を迎えようとしております。先人達が築いてきた歴史をしっかりと継承し、今こそ町民が一体となれば必ずやこの困難を乗り越えられると信じております。

今後も、職員一丸となつて産業振興、町民が安心して暮らせるまちづくりを目指し、町民と共に協働のまちづくりを進めてまいります。

町民皆様、議員各位、羅臼町を応援してください。さる全国の皆様や関係機関、諸団体皆様の特段のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ執行方針と致します。

羅臼の大人は、みんな子どもたちの先生

平成30年度 教育行政執行方針

— 抜粋 —

羅臼町の持続可能な成長・発展を実現していくためには、羅臼町の将来を担う子ども達の健やかな心身の育成と、一人ひとりの能力や可能性を最大限に引き出し、多様な個性を伸ばす教育が必要となっております。

教育に携わる関係者すべてが、地域発展の教育の重要性を認識し、それぞれの果たすべき役割と責務を自覚しながら、町民の期待に応えていくことが、何よりも大切です。

今年度は、羅臼町の教育を推進するため、学校だけでなく、企業や行政、地域などと協力し、産・官・学をあげてのキャリア教育の推進として「羅臼の大人は、みんな子どもたちの先生」という全町民で進めるキャッチフレーズをつくり進めてまいります。

羅臼町における教育行政推進の基本姿勢

当町の持続可能な地域社会の実現と未来を拓く人材の育成を目差すためには、「持続可能な社会で生きる力」を身につけた子ども達を育成する必要があります。

昨年、文部科学省から、新しい幼稚園教育要領、小学校・中学校学習指導要領が告示され、幼稚園は今年度から、小学校は2020年度から、中学校は2021年度から全面実施となり、高等学校は、3月末告示で2022年度から実施予定となっております。教育課程を通して「これからの時代に求められる教育を実現していくためには、学校教育を通して、よりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、社会との連携及び協働によりその実現を図っていく」という、社会に開かれた教育課程の実現が重要となっております。

主要施策の推進

(1) 持続可能な羅臼町の未来を拓く人材の育成(ESDの推進)

- 1点目 「持続可能な未来を拓く人材の育成(ESDの推進)」
- 2点目 「ふるさとキャリア教育の推進」
- 3点目 「総合的な学習の時間の充実」
- 4点目 「世界自然遺産登録地・知床を通しての海洋教育・環境教育を利用したグローバル人材の育成」

(2) 持続可能な「社会で生きる力」の育成

- 1点目 「幼児から18歳までの一貫した教育の推進」
- 2点目 「確かな学力を育む学習指導」
- 3点目 「健やかな体を育む取り組み」
- 4点目 「豊かな心を育む教育やいじめ問題などへの取り組み」
- 5点目 「羅臼町特別支援教育の推進」
- 6点目 「地域全体で子ども達の学びを支援する取り組みの推進」
- 7点目 「子育て支援・家庭教育支援の充実」
- 8点目 「情報通信技術(ICT)を活用した教育の推進」
- 9点目 「教職員の資質・能力の向上」
- 10点目 「学校施設・設備などの整備・充実」

(3) 持続可能な生涯学習や芸術文化・スポーツの振興

- 1点目 「地域の活性化に寄与する生涯学習の振興」
- 2点目 「芸術文化の振興」
- 3点目 「スポーツ活動の推進と環境の充実」

おわりに

教育委員会と致しましては、当町の持続可能な地域づくりのため、未来を創造する人材の育成と、町民の皆様が生涯にわたって豊かな学びが続けられる環境づくりに最善の努力と教育施策を着実に実行してまいります。

議員の皆様、並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願いを申し上げます。教育行政執行方針と致します。





開校しました!

羅臼町立知床未来中学校

開校日 平成30年4月1日



4月10日(火)新校舎で開校式が行われ、新たな中学校生活が始まっています。

開校式では、町長を挟み、小嶋美夕さん(3年)、藤本雄大君(3年)が、建設関係者代表や議長等と共にテープカットを行ない、新たな中学校生活の門出を祝いました。

生徒を代表して「誓いの言葉」を行った小嶋美夕さん(3年)は、「ふるさと羅臼に学び、自分たちの未来を拓いていくため、力を合わせて新しい伝統を創り上げていきます」と力



強く宣言してくれました。

また、村上友歌さん(3年)、小野雷太君(3年)が、新しい校旗を受け取り、会場全体にお披露目し、演台横の三脚に立てて、初めて校旗にその役割を与えてくれました。



当日は、校歌を作詞・作曲して下さった羅臼大使 吉幾三さんが、駆けつけてくれました。

開校に向けて、それぞれの中学校で練習してきた校歌を、知床未来中学校の生徒として初めて全員で斉唱した姿に、吉幾三さんの目には涙が見られ、全体記念写真の撮影後には、自らマイクを持ち、生徒達と一緒に校歌を歌ってくれました。

式典終了後には、町長から感謝状の贈呈と望月あゆみさん(2年)から花束と感謝の言葉が送られ、感動的な開校式となりました。

平成30年度、外構工事(グラウンド・テニスコート・駐車場)を行います。

今年度11月末までにグラウンド・テニスコート(一面)・駐車場等の工事を完了させ、すべての工事が終了する予定となっています。

知床・羅臼まちづくり基金 状況報告

寄付者や町民のみなさまへ

知床・羅臼まちづくり基金はふるさと納税導入後の平成27年12月1日より「地域資源を活かした活力ある産業のまちに関する事業」、「一人ひとりが輝ける地域医療、保健、福祉、介護のまちに関する事業」、「自然環境に配慮し安心安全に暮らせる快適なまちに関する事業」、「豊かな心身を育み、明日へとはばたくまちに関する事業」、「持続的な行財政運営ができるまちに関する事業」および「その他、目的達成のために町長が必要と認める事業」を合わせた6項目を政策メニューとして位置づけ、基金運用をしております。

ここに、平成29年度の基金運用状況の報告をさせていただきます。

1 基金の状況

	平成28年度以前 基金・件数		平成29年度 基金・件数		合 基 金・件 計 数		平成29年度の 基金の運用額	平成29年度基金 運用後残額
地域資源を活かした 活力ある産業のまち	43,171,279円	5,573件	46,167,743円	7,780件	89,339,022円	13,353件	842,923円	88,496,099円
一人ひとりが輝ける地域医 療、保健、福祉、介護のまち	28,104,035円	3,663件	24,995,201円	4,348件	53,099,236円	8,011件		53,099,236円
自然環境に配慮し安心安 全に暮らせる快適なまち	33,228,164円	3,789件	28,091,186円	4,746件	61,319,350円	8,535件		61,319,350円
豊かな心身を育み、明 日へとはばたくまち	36,244,921円	1,352件	10,967,344円	1,789件	47,212,265円	3,141件	31,351,773円	15,860,492円
持続的な行財政運 営ができるまち	4,944,566円	630件	4,997,709円	874件	9,942,275円	1,504件		9,942,275円
その他目的達成のため に町長が必要と認める事業	40,267,164円	5,357件	42,092,432円	7,099件	82,359,596円	12,456件		82,359,596円
合 計	185,960,129円	20,364件	157,311,615円	26,636件	343,271,744円	47,000件	32,194,696円	311,077,048円
運 用 益	358,005円		1,764円					

2 基金の運用

基金を運用し、「北方領土返還啓発事業」「特産品販売促進事業」「中学校建設に要する経費」「町内遺跡の自然崩落に伴う発掘調査」の4つの事業を行いました。「ふるさとに生き、未来を拓く」新たな学びとして開校された羅臼町立知床未来中学校の建設費として30,000千円を充当した他、来訪する観光客に対してPRと北方領土問題の啓発・普及を図るため、羅臼町の入り口である峯浜町に北方領土啓発看板を設置するなど、有効的に活用させていただきました。



峯浜町北方領土啓発看板設置



知床未来中学校建設費へ充当

寄付者の方々 (平成29年4月～平成30年3月)

(順不同・敬称略)

- ・丸ト田中水産(有) 羅 臼 町
- ・宗教法人 念法眞教 大 阪 府
- ・UAゼンセン同盟 東 京 都
- ・大和山チャリティバザー実行委員会 羅 臼 町
- ・北海道コカ・コーポリング機 札 幌 市
- ・羅臼町保健推進委員会 羅 臼 町
- ・らうす 尻 羅 臼 町

(注1) 寄付者について、氏名の公開を希望されていない方の掲載はしていません。

(注2) 個人の寄付者は町内の方のみを掲載しております。

(注3) 住所は寄付時の住所となります。

○知床・羅臼まちづくり基金については、羅臼町ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.rausu-town.jp>

あしたへつながる防災知識

第10弾

巨大地震が発生した時には？

先月、4月14日（土）に根室半島南東沖を震源地としたマグニチュード5.4の地震が発生しました。この地震によって根室管内では中標津町が最大震度5弱を観測し、羅臼町でも震度4と近年では体験したことのない大きな地震が起こりました。このような地震、もしくはこれ以上大きな地震が発生した時のために、地震に対する備えをしておくことが大切です。今回は、地震発生時に注意する点、地震が発生する前から注意しておかなければならない点について紹介します。

建物内にいた場合

- 頭を保護し、丈夫な机の下に隠れる。
- 身の安全を確認してから火の元を確認する。
- 揺れがおさまるまでは外に出ない。
- 窓や大きな家具等から離れる。
～避難準備の際に注意する点～
- ドアや窓を開け、避難口を確保する。
- ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。



屋外にいた場合

- 割れたガラスや看板の落下に注意する。
- 自動販売機やブロック塀から離れる。
- 運転中の場合は徐々に速度を落とし、路肩に車を止める。
～避難準備の際に注意する点～
- 近くに空き地や公園などがあれば、迷わずそこへ避難する。
- 交通網が遮断して帰宅が困難になっている場合もあるためむやみに移動を開始しない。



巨大地震が発生した場合はその直後から、何をすべきかを判断し、短い時間で対処をしなければなりません。そのためには、地震が発生した場合に、自分がすべきことを日頃から確認しておく必要があります。また、地震が発生する前から家族で防災について話し合い、それぞれがとるべき行動をもう一度確認しましょう。

● 家屋の安全確認 ●

家具の転倒防止を行い、高い所に重いものやガラス製品が置かれていないかを確認し、安全なスペースを確保しましょう。

● 持ち出し品などをチェック ●

持ち出し袋は自分の体力にあった重さのものを準備し、実際に持って逃げるのが出来るか確認をしておきましょう。

● 災害時の連絡方法を確認 ●

- 災害用伝言ダイヤル『171』
安否情報を録音・再生できる声の伝言板です。(毎月1・15日に体験可能)
- 災害用伝言板
携帯電話各社が提供するサービスで、文字メッセージを掲示板に残すことが出来ます。



● 避難する場所を確認 ●

地域で定められている避難場所を確認しましょう。また、避難場所が広い場合は集合場所を決めておくことも有効です。



羅臼町では、地震・津波災害に対する防災意識の向上を図るため、全町民を対象とした一斉避難訓練を、平成12年度から毎年実施しており、今年度は6月13日（水）に実施いたしますので、今回紹介した注意点を意識しつつ避難訓練に参加をしてみてください。

新規採用職員紹介

平成30年4月1日付けで、2名が町職員として採用されましたので紹介します！

- ①趣味・特技・好きなこと ②誰にも負けないこと ③羅臼の好きなところ ④今後の抱負



かわかみ まりか
川上 莉佳 (産業創生課)

- ①散歩・ランニング
②自然や動物への興味
③手つかずの自然があり、都会では見られないような野生鳥獣が多くいること
④仕事をもっと早くこなせるようになって、羅臼町に貢献したいです



ゆみば しゅんき
弓場 俊希 (建設水道課)

- ①釣り・バスケットボール
②陸上競技
③自然がとても豊かで魚介が美味しいところ
④仕事をいち早く覚えたいのと、羅臼町について色々知っていきたいです

よろしくお祈いします



Rausu's Adventure

～地域おこし協力隊大石が行く 羅臼探険隊～

4月から羅臼町地域おこし協力隊として赴任した大石陽介と申します。赴任して約2か月が経とうとしていますが、1日1日が新しい日々の連続です。羅臼町に少しでも早く慣れるため、いろいろなところに顔を出して、情報を集めていきたいと思ひます。今年度は、世界自然遺産のまち「羅臼」でしかできない体験を数多くさせてもらいながら、この町の魅力を国内だけでなく、海外にも発信していきます。羅臼町の皆様には、羅臼町Facebookや広報誌「らうす」にて、情報をお届けしたいと思ひます。(4月25日発行の町政だよりにて、自己紹介をさせていただきましたので、興味をもっていたいた方は、そちらから確認をお願いします。)

今回だけは特別に、羅臼に来て一番心に残っていることであり、羅臼町の皆さんに伝えたいことについて書かせていただきます。それは、『羅臼町民の心の温かさ』です。知り合いもないこの町に来て、これからの生活に不安を抱えていたとき、「家にご飯でも食べに来ないか。」「この魚持っていくか。」「この町によく来てくれた。ありがとう。」「わざわざ遠くから来てくれているのに知らなくてごめんね。」など数多くの温かい言葉をかけていただきました。この町の環境で育ったからこそ、この優しさがあるのだろうと思ひます。ここで生活しなければ気づかないこと、外から来た人にしか気づけないこと。きっとこういうことってたくさんあると思ひるので、「羅臼」での本物の生活を送っていき、とことん探険していこうと思ひます。

放置していませんか？“要精密検査”のお知らせ

こんにちは。新年度が始まり、健康診断やドックの季節となりました。学校や職場、町の総合健診等でみなさんも健診を受けたのではないのでしょうか？

昨年度（平成29年度）、町のがん検診を受診した方の受診状況は表1、表2のとおりです。

がん検診の種類によって違いますが、受診者の約20人に1人の割合で精密検査が必要（“要精密検査”）と判定されています。精密検査が必要と判定された方の中で多数は速やかに医療機関を受診していますが、未受診のままいる方も少なからずいる現状があります。

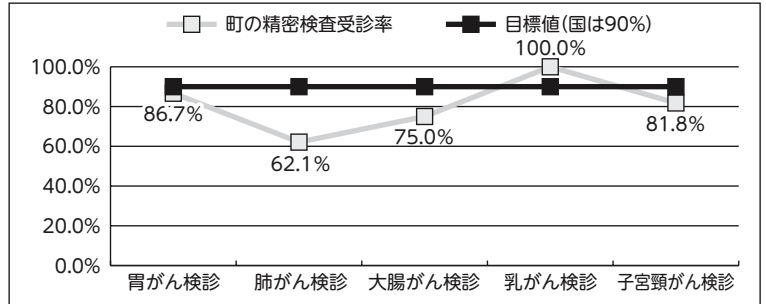
町のがん検診では、毎年1～2名ずつ“がん”が発見されています。要精密検査と判定されて放置することが一番よくありません。

精密検査の医療機関受診先や精密検査の方法など不安なことなどございましたら、気軽にお問い合わせください。

表1

	検診受診者数	要精密検査者	精密検査受診者	未受診者
胃がん検診	272	15	13	2
肺がん検診	386	29	18	11
大腸がん検診	269	8	6	2
乳がん検診	202	12	12	0
子宮頸がん検診	169	11	9	2

表2



～平成30年度 特定健診受診券を対象者に発送致しました。(対象者1,553名) 次回から羅臼町の特定健診受診率の速報値を掲載いたします。受診券が届いた方は、特定健診をお受けください。

羅臼町役場 保健福祉課 保健師 TEL87-2161

子育て情報ひろば～すくすく～

ありんこは毎月～金
9:30～11:30まで
火・水は午後も開放!

★毎日開放(13時～16時)



0～3歳までの未就園児さんを集めて毎日遊ばせています。お家でお母さんと一緒に過ごす楽しさもあるのですが、「ありんこ」に来て家とは違う体験を親子で楽しんでみませんか。

親子でお友達との出会いを喜び、一緒に育ち合いができるような「ありんこ」にしていきたいと思います。

お父さんの参加もどんどん募ります。お父さんのかかわりはとっても大事です。

毎日の子どもの育ちをお母さんと共有できることがすばらしいことなのです。

忙しい合間に寄ってみてください。

♪6月・7月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場(0歳～3歳対象) ☆すくすく広場(1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場(2歳～3歳対象)

6月1日	すくすく広場	6月4日	ママの日♪	6月6日	春松幼稚園訪問
6月13日	避難訓練	6月22日	健康ヨーガ教室	6月27日	ミニミニ運動会
6月28日	おはなし会	6月29日	のびのび広場		
7月4日	羅臼幼稚園訪問	7月6日	すくすく広場	7月10日	ママの日♪
7月11日	ありんこ広場	7月18日	ありんこ広場	7月25日	ありんこ広場
7月27日	のびのび広場	7月30日	計測		

*健康ヨーガ教室は事前に申し込みが必要です。3日前までにお申し込みください。

*毎週火曜・水曜日の13時～16時30分まで一時預かりを行っています。事前にお申し込み下さい。

*お問合せ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』Tel88-1515

すきま時間で、あいうべ体操！

～みんなで育む・みんなの診療所～

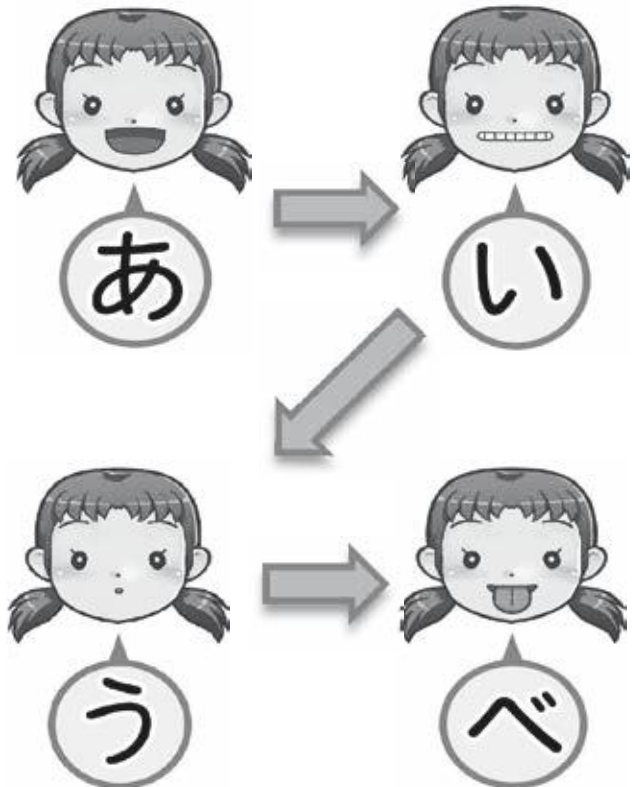
あいうべ体操をご存知ですか？読んで字のごとく、“あいうべ”と繰り返すだけの簡単な口の体操です。この体操を継続し呼吸法を口呼吸から鼻呼吸へ変えることで、誤嚥性肺炎やインフルエンザの予防、歯周病などの改善が期待できます！ちょっとしたすきま時間に、あいうべ体操を行ってみませんか？

あいうべ体操の方法

～体操のポイント～

- ・口を大きく動かすことを意識しましょう！
- ・お風呂や就寝前がオススメです！
- ・声を出して行くとストレッチ効果がアップします！

- ① 「あ～」と口を大きく開けます
喉の奥が見えるくらい開けましょう。
あごの筋肉が鍛えられます！
- ② 「い～」と口を横に開けます
首の筋がやや浮き出るくらい開けます。
頬・口元・首の筋肉が鍛えられます！
- ③ 「う～」と口をとがらせます
思い切り唇を前に突き出すようにします。
口輪筋という唇を閉じる筋肉が鍛えられます！
- ④ 「べ～」と舌を伸ばします
舌の先をあごまで伸ばすような気持ちで出します。
様々な舌の筋肉を一度に鍛えることができます！



※①～④を約5秒かけて行い、
1セットを10回続けて行いましょう。
1日で3回に分けて行うとより効果的です！

あいうべ体操の効果

✓唾液の量が増える！

口の中の潤いを保ち粘膜を保護してくれる為、食べ物を飲み込みやすくなります。細菌やウイルスの増加を防ぐ強力な抗菌作用があるため、インフルエンザの予防や歯周病菌の抑制に役立ちます。

✓舌の筋力を強化できる！

舌やその周辺の筋力を強化することで、食べ物や唾液をしっかりと食道に送ることができ、誤嚥性肺炎の予防を図れます。フェイスラインもスッキリしますよ！

✓気道の免疫力を保つことができる！

鼻呼吸になると、鼻から吸われた冷たい空気は鼻毛・鼻水と接することで温かく湿った状態で体内に入る為、気道の乾燥と低温化を防ぎ、免疫力も高くなります。

あ・い・う・べ！



～予約・お問い合わせ～ 知床らうす国保診療所 Tel87-2116



羅臼町郷土資料館からのお知らせ



郷土資料館を見学して、アンケートに答えて
土器や石器のレプリカを手に入れよう！

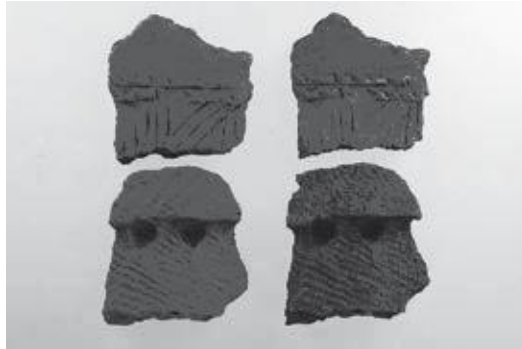


お知らせ① プレゼント付きアンケート

郷土資料館では、6月～10月の期間来館者を対象に、今後の運営や活動の参考とするためにアンケート調査を実施しています。

アンケートにご協力頂いた方には、展示に関連した土器や石器、骨角器のレプリカを一点差し上げることとしました。

現在、10種類のレプリカを用意しています。
この機会に全種類集めてみてはどうでしょうか？



○土器(左がレプリカ)



○骨角製の銛(左がレプリカ)

なお、レプリカは資料館展示の大正末期の自動販売看板から出てくるため、選ぶことはできません。

※レプリカの素材は使用期限の迫った合成樹脂や石膏を使用しています。そのため、品質は保証しておりません。

お知らせ②

資料館屋外ヒカリゴケ観察所プレオープン

北海道指定天然記念物「羅臼のひかりごけ」(マツカウス洞窟)は平成26年からの保護増殖事業により、昨年は国内最大級の自生地と呼ばれていた姿へ回復してきています。

今後、ヒカリゴケを維持する環境を把握するために、郷土資料館の敷地で屋外ヒ



屋外ヒカリゴケ観察所



マツカウス洞窟内(H29.9撮影)

カリゴケ観察所を設置して調査を進めます。

また、マツカウス洞窟のヒカリゴケは岩盤崩落の危険のため立ち入り禁止となっており見学できないことから、この施設で見学が可能となります。6～9月の期間が見頃です。





城下町のわだい

みんなでまちづくり

4月6日(金)・9日(月)・10日(火)



入園、入学おめでとう!!

町内の各幼稚園、学校で新生活始まる。入学式が行われました。

幼稚園では、お母さんに手を引かれながら元気いっぱい29名の園児達が入場してくれました。

小学校では、49名の生徒が入学され、お父さん・お母さんに見守られながらも、小さな身体で大きな声を返事をし、校長先生との3つの約束を守ることが誓いました。

新校舎となった知床未来中学校では、39名の新入生が真新しい制服に身を包み、心躍らせながら初めての入学式を迎えました。

高校では、吹奏楽部による生演奏の中、33名の新入生が入場され、校歌斉唱では、部活動に加入している2・3年生の生徒達が体育館に集合し、素敵な歌声を披露してくれました。

新たな場所で、新たな仲間と出会った150名。これからたくさんのお話を吸収して、思い出深い学校生活を送って欲しいです。皆さんご入園、ご入学おめでとうございます。



羅臼幼稚園



羅臼小学校



羅臼高校



春松幼稚園



春松小学校



知床未来中学校

町では協働のまちづくりを推進しています。

ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取上げ掲載して行きたいと考えています。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

4月8日(日)



知床の春を一足お先に

参加者みんなが大満足の雪壁ウォーク

春の訪れを感じる天候の下『知床雪壁ウォーク2018』が開催されました。羅臼コースには、179名の方が全国各地から、また海外からも参加してくださいました。



8mを超える雪壁の高さに驚いたり、知床峠からの絶景に感動したりと往復7.5kmのコースを歩く中で満足している様子が多く見られました。また、雪壁を切り崩した写真スポットでインスタ映えをねらって写真を取り合っている姿も印象的でした。中でも、知床峠付近で行われたロータリー除雪車が豪快に雪を吹き飛ばす様子には大歓声が上がりました。来年度は、今年度以上に参加者が増えるようにイベントのPRにも力を入れ、知床羅臼町の魅力を少しでも多くの方に知ってもらい、実際に体感してもらいたいです。



防火服に着替えた園児たちは、火の危険を狙い一生懸命に放水訓練を体験していました。



ちびっこ消防士出動!!

春の全道火災予防運動期間に、しれとこ幼年消防クラブ(羅臼幼稚園)の園児達が、一日ちびっこ消防士の委嘱を受けました。



ボランティアによるグラウンド整備

雪解けが進むこの時期、毎年重機を用いて春松小学校グラウンドを整備していただいております。この整備もあって、今年も例年より早くグラウンドの開放が始まり、早速、野球少年団やサッカー少年団、中学校野球部等の利用がありました。

また、今年も羅臼小学校グラウンドの整備もしていただきありがとうございました。
鈴木産業 鈴木陽助常務は、「子どもたちが一日でも早くグラウンドでスポーツができるよう取り組んできました。10年継続を目指し、今後も続けていきたい」と話してくれました。10年継続を目指し、鈴木産業(株)様、小川建設(株)様本当にありがとうございました。



重機による整備



長い冬を越えて春の訪れ 知床横断道路開通式

今年もゴールデンウィークを目前に知床横断道路が開通しました。

当日は、曇り空の下での開通式となりましたが、熊の湯で身体を温めた外国人観光客や車内にスキー板を積み込みアクティブにお出掛けされる方などで列をつくり、開通時刻を待ち、ウトロ方面へと車を走らせました。

これから短い夏が始まり、秋が来て、また長い冬へと。そんな知床の春夏秋冬を感じ、皆さんも知床横断道路を通りお出掛けしてみたいか? どうか。



「日頃の感謝を込めて」

羅臼津軽手踊会石川流(代表 脇セツ氏)の皆さんから、公民館へ座布団カバーの寄贈をいただきました。

平成4年より活動され、これまで知床開きや羅臼町総合文化祭に出演されてきた皆さんですが、この度、これまでの練習成果が認められ、それぞれ講師・準講師の免許が交付されました。10日には皆さんで来館され、これまで練習場所として利用してきたお礼として鈴木瑠花さんより「大事に使ってください」と平田館長へ座布団カバーを手渡されました。

なお、6月16日(土)に開催される知床開き前夜祭に羅臼津軽手踊会石川流の皆さんも出演予定となっております。寄贈いただきありがとうございました。



羅臼津軽手踊会石川流のみなさん
右より 鈴木 瑠花さん、小倉さくらさん
小嶋 衣麻さん、大室 和奏さん

TAXコラム

(税務財政課通信)

情報ひろば

RAISU TOWN INFORMATION

「町税の早期納税にご協力を！」

現在、平成30年度町税の納税通知書発付の準備中です。平成29年度の町税をまだ納税していない方は、早急に納税してください。

また、平成27年度の町税より納期限後に収められた場合は、遅れた日数に応じて延滞金を加算して徴収しています。「ある時払い」や「漁期切上時の一括納税」等をされている方は、これを機会に納期内納税に努めるようお願いします。

納期内納税できない方は、分割納税など納税相談にも応じていますので、その場合は必ず役場税務財政課へご相談ください。



【5・6月の休日・夜間窓口】

〈休日窓口〉 5月27日(日)、6月24日(日) 午前9時～午後5時まで

〈夜間窓口〉 5月31日(木)、6月29日(金) 午後7時まで

〈お問合せ先〉役場税務財政課 TEL 87-2113

根室管内教育実践表彰

NPO法人羅臼スポーツクラブらいう様
10年の長きにわたり、町民の誰もがいつでもスポーツに親しむことができる環境を整え、生涯スポーツ社会の実現と、健康の保持増進に大きく貢献されたことにより北海道教育庁根室教育局長より表彰されました。
おめでとうございませう。



羅臼町交通安全指導員委嘱

任期	監事	監事	理事	理事	理事	副会長	副会長	会長	顧問	
平成32年3月31日	天神光人様	藤岡智恵子様	佐々木孝悦様	鹿又喜代信様	平井富士美様	飯島美喜男様	川尻一男様	大友敏春様	山内孝治様	猪狩弘様



寄付寄贈
ありがとうございました

【知床未来中学校備品

演台・袖台一式

羅臼ライオンズクラブ 様

【知床未来中学校備品

車イス一台

羅臼町社会福祉協議会 様

【財政調整基金】

高部電気株

代表取締役

高部 英男 様

【文教施設整備基金】

四ツ屋養吉 様

(平成30年3月11日)

平成30年5月10日受付分

掲載)



おくやみ申し上げます



(敬称略)

赤ちゃん誕生



(敬称略)

羅臼いさり火吟社

4月例会句
平成30年4月

雁帰る国境の海飛び越えて

悠羅

筈起さるお散歩の犬横っ跳び

鹿山

野菜種並ぶ店先雨水かな

泥舟

九十九まで死なない薬田月馬鹿

羅牛

新校舎入学式の新校歌

英美

俳句同好会「羅臼いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、左記までお問い合わせ下さい。

〒086-1823 羅臼町栄町

羅臼いさり火吟社 宮腰 實

(電話)0153-87-3758

人の動き

平成30年4月末現在 ()内は平成30年3月末対比

人口 5,097人 (+21) 男 2,530人(+19)
世帯 2,075世帯(+23) 女 2,567人(+ 2)

編集後記

今月号の取材では、知床未来中学校の開校式に行ってきました。式典には、校歌を作詞・作曲された羅臼大使吉幾三さんが登場し会場は大盛り上がり。2年前に羅臼町で開催されたlive以来、すっかり吉幾三さんのファンになった私ですが、個人的にもとても嬉しい時間となりました。

新年度初めての広報誌発行となりましたが、今後皆さんの元へ取材に伺った際は、ご協力宜しくお願いします。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす 平成30年5月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
<http://www.rausu-town.jp/>